

商工会議所について

全国各地に設立されている「商工会議所」は、地域商工業の振興を目的とした経済団体で、商工会議所法に基づく特別民間法人です。全国で515箇所約125万社が加盟。福岡県内では19の商工会議所が地域単位で設置され、地域の商工業者が加盟、運営を行っています。



商工会議所の特徴

- 特定の業種や産業に限定されず、また企業の大小を問わず、広く商工業一般を通じた「総合的経済団体」であることです。他の経済団体の多くが、特定の業種の発展または利益の確保をめざして活動しているのに対し、商工会議所は普遍的かつ公平な活動を行っています。
- 都市を中心とする一定の地域にある商工業者の結合の上に立つ「地域団体」であることです。「地域総合経済団体」。これが商工会議所の基本的な性格です。
※「商工会議所」は主に市に、「商工会」は主に町村に設置されます。

日本の商工会議所



渋沢栄一

1878年 東京商法会議所設立

きっかけは諸外国に対する実業界の世論形成

日本で最初に商工会議所が設立されたのは、1878年(明治11年)3月に東京でのことです。

時の明治政府は、欧米諸国に立ち遅れた国力を増進強化するため、「富国強兵」「殖産興業」「文明開化」といった国策を掲げ、特に、外国貿易振興のための商工業者の機関を必要としていました。

幕末に締結された「不平等条約の改正」に向けて、当時の交渉に当たっていた内務卿・伊藤博文らは、『条約改正は国民の世論である』と諸外国に訴えていました。しかし、イギリス公使・パークスから『それはおかしい。条約改正は国民の世論であるといわれたが、国会も商工会議所もない日本が、どこでどのようにして国民の世論を聞く方法があるのか、そのような便利な方法があれば、不肖パークス後学のために教えていただきたい』と強く反論されたそうです。

これらをきっかけとして、伊藤博文や大隈重信らが、「日本資本主義の父」とも言われる、実業界の渋沢栄一に相談をもちかけ、これに応じる形で、渋沢が商工会議所の設立を提唱したと言われています。もともと、渋沢は、「日本が国際的に認められるためには、実業界がまず、しっかりしなければならず、なおかつ、国際化を果たしていかなければならない。でなければ、日本は欧米列強の属国になってしまう」と強い危機感を持っていたそうです。

帝国議会が始まったのが1890年(明治23年)ですので、商工会議所は、帝国議会の12年も前に設立されたこととなります。

このように、商工会議所は、日本で最初の、国際的に通用する意見集約機関であったと言えるかもしれません。設立以来、商工会議所は一貫して、商工業者を中心とする意見集約・提言活動を行い、日本の近代化に大きく貢献してきました。

(写真: 渋沢史料館所蔵)

世界の商工会議所



マルセイユプロバンス商工会議所

1599年 マルセイユ商業会議所設立

発祥は商工業者の「ギルド」

「商工会議所」は世界中にあり、その歴史は遠く中世期にさかのぼります。ヨーロッパの商工業がまだ近代資本主義の洗礼をうける以前、フランス、ドイツ、イギリスの諸都市には、商人のギルド組織(職種別組合)が普及しており、このような組織を母体として、フランス・マルセイユに誕生したのが、今日における商工会議所の最初の形態であるとされています。1599年、日本では関ヶ原の戦い(1600年)の前年のことです。

その後、17世紀の後半から18世紀にかけ、商工会議所はヨーロッパの他の諸国に影響を及ぼしました。ナポレオン一世の欧州制覇に従って、ライン河畔の諸国からはじまり、ドイツ、オランダ、ブルガリア、スペイン、イタリアなどで、フランス制度に範をとった商工会議所制度が広がりました。

おせっかいを誇りとします。



福岡商工会議所

- 福岡県商工会議所連合会事務局
- 九州商工会議所連合会事務局

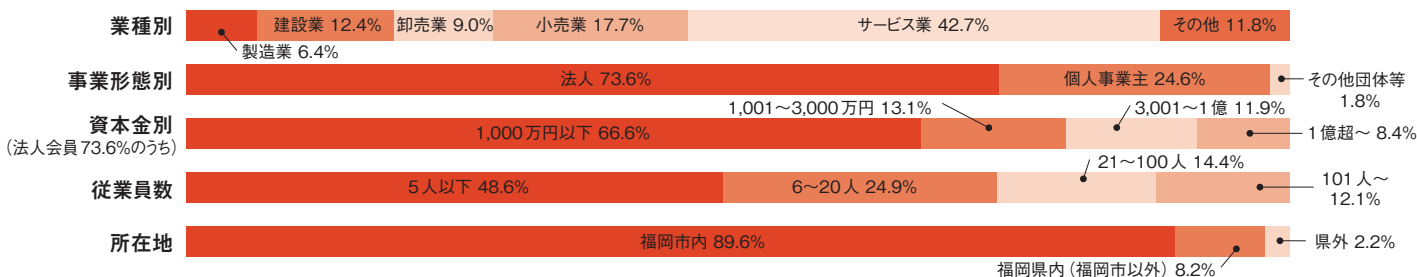
全国で6番目に設立

今年140周年を迎えます

活動範囲: 主に福岡市内
 会員事業者数: 15,954社(2019.3.31現在)
 職員数: 93名(2019.4.1現在 出向者含む)
 根拠法: 商工会議所法
 (1953年8月1日公布法律第143号)



福岡商工会議所の会員事業者のうちわけ(2019年3月末現在概算)



福岡商工会議所は今年で140周年を迎えます

■福岡商工会議所の設立

1879年(明治12年)10月13日
福岡商法会議所設立
全国で6番目、九州では長崎について2番目
2019年創立140周年を迎えます。



福岡商法会議所設立時
事務所を置いた第十七国立銀行本店



初代会頭 中村五平
第十七銀行2代目頭取

■福岡商工会議所の変遷

- 1888(明治21)年7月 福岡商工会
太政官布達13号に基づき改組、公認の団体となる。
- 1891(明治24)年7月15日 博多商業会議所
商業会議所条例に基づき商工会を解散し新たに会議所を設立、
法的団体となる。
- 1928(昭和3)年6月23日 博多商工会議所
商工会議所法に基づき改組。
- 1943(昭和18)年10月1日 福岡県商工経済会福岡支部
商工経済会法に基づき博多商工会議所を解散・福岡県商工経済
会成立に伴い同会支部となる。自主的組織から国策協力機関へ。
- 1946(昭和21)年10月12日 社団法人福岡商工会議所
福岡県商工経済会を解散、社団法人の会議所設立。
- 1954(昭和29)年6月1日 福岡商工会議所
1950(昭和25)年商工会議所法による改組のあと、新商工会議
所法に基づき特殊法人に改組、現在に至る。

■商工業者の声で社会を変える

商工会議所は、商工業者が懸命に福岡の未来を描いた未来の実現に向け、時には長期間にわたり建議要望を重ねてきました。



■明治29年「博多港の開港」請願
→博多港開港は同年実現



■明治29年「関門海底鉄道」の請願
議案のスケールがあまりに大きかったため、同議案を取り下げた。が、46年後…関門海底鉄道は昭和17年実現)。

■大正7年「博多駅の移転」申入れ
→移転申入れから46年後、昭和38年
駅移転が実現



■「博多どんたくの復活」
昭和21年5月25日「第一次博多復興祭り」と銘打った祭りが開催。「子供山笠」とともに「松囃子」や「どんたく囃子」が復活。昭和22年5月24日～25日「祝福岡市復興祭・みなと祭」開催

■平成元年「福岡空港の機能強化(滑走路増設)」
→令和7年増設滑走路共用開始(予定)

現在、当所や福岡県商工会議所連合会、九州商工会議所連合会では、中小企業施策や税制はじめ、交通インフラや地域活性化・観光振興など、様々な提言・要望を行い、福岡の商工業と地域の発展に取り組んでいます。

出典：・福岡商工会議所120年の歩み
・九州・福岡の未来を拓く 福岡商工会議所創立130周年記念誌

も く じ

1.ビジネスチャンスを広げたい(交流)

- ・夏の会員交流会 05
- ・新入会員交流会
- ・新年祝賀会
- ・異業種交流会
- ・女性会 06
- ・福岡ビジネス倶楽部
- ・支店長会
- ・各種部会交流会・講演会

2.ビジネスチャンスを広げたい(商談)

- ・国内・海外向け商談会、展示会、見本市 07
- ・ワンストップ海外展開相談窓口 08
- ・博多うまかもん市
- ・Food EXPO Kyushu
- ・観光商談会

3.ビジネスチャンスを広げたい(広報支援)

- ・ザ・ビジネスモール 09
- ・ホームページ作成システム
- ・広報誌誌面広告、チラシオリコミ 10
- ・ホットニュース

4.優秀な人材を採用・育成したい

- ・会社合同説明会 11
- ・学校と企業との就職情報交流会
- ・人材確保支援事業
- ・優良従業員表彰
- ・福岡実務研修講座 12
- ・「e-ラーニング」研修
- ・リカレント講座・出前講座
- ・商工会議所の検定試験 13
- ・福岡パソコンスクール
- ・キャリアアップ支援プログラム

5.経営相談したい

- ・経営相談の利用方法 14
- ・経営相談窓口 15
- ・記帳継続指導、福岡税務相談所
- ・IT・ICT活用による生産性向上の支援 16
- ・消費税軽減税率・転嫁対策支援
- ・企業・店舗診断
- ・福岡県中小企業再生支援協議会
- ・福岡県経営改善支援センター
- ・福岡県事業引継ぎ支援センター
- ・後継者人材バンク

- ・マル経融資 17
- ・福岡イノベーション支援事業
- ・経営革新計画策定、創業支援 18

6.もしもの時に備えたい

- ・生命共済制度 20
- ・ビジネス総合保険 21
- ・PL保険、業務災害補償プラン、休業補償プラン、
海外展開サポートプラン、労働保険事務組合
- ・提携する損害保険 22
- ・確定拠出年金(DC)プラン
- ・小規模企業共済

7.その他会員サービス

- ・健康診断 23
- ・生活習慣病健診
- ・貸会議室 24
- ・チケット優待サービス 25
- ・HAWKS特割回数券
- ・ベネフィットステーション(福利厚生)
- ・貿易関係証明、バーコード、電子証明書クーポン 26
- ・福岡商工会議所からの情報発信

入会について、お問い合わせ 裏表紙

福岡商工会議所とは

福岡市内の商工業者を中心に構成される経済団体です。地域経済の振興と魅力ある福岡の創造に向け、経済界を代表して大型プロジェクトの促進や国際交流、国の政策に対する意見・要望活動等を行うとともに、会員の皆様に各種サービスを提供しています。

■ 福岡商工会議所の中期方針 (2018年度～2020年度)

前中期方針 (2015年度～2017年度) における成果や課題、経済・社会の環境変化などを踏まえ、2018年度からの3か年の方針を策定しました。



福岡商工会議所は、「商工業の改善・発達」と「福岡の発展」を理念に掲げ、諸活動を展開してまいります。その中で、中期方針 (2018年度～2020年度) を「質的向上によるサービス充実」のステージと位置付け、諸活動の質の向上に注力してまいります。

当所の活動・サービスの質を高め、将来に向けた変化への確に対応していくため、各事業の企画・実行において、サービスを提供する職員が、常に心がけておくべき統一した考え方を、3つの基本戦略「Ⅰ 事業サービス改革」「Ⅱ 事業マネジメント改革」

「Ⅲ 人材マネジメント改革」としてまとめました。この3つの基本戦略に基づき、3つの事業分野「アジアの拠点都市として活力溢れる福岡の構築」「地域を支え、成長し続ける商工業者の支援」「信頼され、進化し続ける福岡商工会議所の実現」において、9つの重点項目 (下記) を含め17の主要施策・事業を推進してまいります。

また、部会・委員会の活動と当所事業との連携を強化し、各事業の質を高めてまいります。

※詳細につきましては、当所ホームページよりご確認ください。

【理念】商工業の改善・発達と福岡の発展

【中期方針のビジョン (目指す姿)】 ～質的向上によるサービス充実～

【3つの事業分野】

アジアの拠点都市として活力溢れる福岡の構築

- ▶ 成長著しい福岡の強みを生かした産業・経済振興
- ▶ アジアの拠点都市にふさわしい都市機能設備促進

地域を支え、成長し続ける商工業者の支援

- ▶ 事業者の持続・成長のための支援
- ▶ 企業サイクル (創業～成長～成熟～承継) に合わせた伴走型支援

信頼され、進化し続ける福岡商工会議所の実現

- ▶ 会員活動の推進
- ▶ 会員増強活動の強化
- ▶ 職員の資質向上
- ▶ 財務基盤の強化

強み

- ▶ 歴史とブランド力
- ▶ 多様な支援ときめ細やかなサービスの提供
- ▶ 地域・産業振興支援の高い実効性
- ▶ 全国会議所のネットワーク

Ⅰ 事業サービス改革 Ⅱ 事業マネジメント改革 Ⅲ 人材マネジメント改革

部会

委員会

関係支援先

- ▶ 国、県、市
- ▶ 日商、連合会
- ▶ 地元経済4団体
- ▶ 各種大学、JA
- ▶ 民間企業、金融機関、士業
- ▶ コンサルタント企業

■ 中期方針 (2018年度～2020年度) キーマッセージロゴ・イメージキャラクター



【キーマッセージ解説】
事業者の皆様が、当所を通じてワンストップで情報を得て、様々なサービスを受けることができるようになること、そして、当所サービスの活用により、事業者の皆様が経済・社会の環境変化に的確に対応し、ワンストップ上のステージに成長できるようになることを目指します。
更に、会員と「1つになって」、市民と「1つになって」、行政や他の経済団体、地域と「1つになって」、地域経済を活性化していきたいという思いを「One」に込めて、本中期方針を推進してまいります。

重点項目 (9項目)

- ・ **MICE、観光、インバウンド支援 (交流人口の増加)** ～国内外の観光需要の取り込みに向けた活動強化～
- ・ **海外展開支援** ～企業の海外展開支援～
- ・ **人材確保の包括的支援** ～企業の採用活動への支援強化～
- ・ **人材育成支援** ～企業を担う人材のスキルアップ支援強化 (リカレント教育等の取組)～
- ・ **創業支援 (スタートアップ支援)** ～特区を活かした創業促進～
- ・ **事業承継支援** ～大企業承継時代を見据えた事業承継への対応強化～
- ・ **IT・ICTの活用による生産性向上支援** ～身の丈ITの徹底普及による労働生産性の向上～
- ・ **イノベーション支援** ～第4次産業革命を踏まえたイノベーションの促進～
- ・ **会員純増に向けた入会促進、退会防止強化** ～会員ニーズ分析による計画的アプローチとフォロー強化～

部会・女性会

福岡商工会議所には、11の部会があり、会員企業の皆様は、業種・業態に応じていずれかの部会に所属いただきます。部会は、業界の動向、経営問題についての情報交換や講演会等を実施し、同業種や関係業種と会員企業との交流を深める場であり、業界の声、会員の声を商工会議所事業に反映させるための組織です。

- | | |
|------------|--------------|
| 食料・水産部会 | 卸売商業部会 |
| 建設部会 | 小売商業部会 |
| 繊維ファッション部会 | 観光・飲食部会 |
| 工業部会 | 理財部会 |
| エネルギー部会 | 情報・文化・サービス部会 |
| 運輸・港湾・貿易部会 | 福岡商工会議所女性会 |

委員会

委員会は、福岡商工会議所がその本来の目的である「商工業の改善・発達」「福岡の発展」を図るための調査研究機関です。今年度は、6の委員会が設置され当所議員や有識者によって構成されます。

- MICE・観光振興委員会
- 人財支援委員会
- 創業・新産業創出委員会
- 海外展開支援委員会
- 税制委員会
- 議員表彰・定款規約委員会

地域活性化への取り組み

2018年度 政策提言・要望活動

経済産業省・財務省・観光庁など

- ・人材不足解消・人材活用への支援
- ・外国人旅行者受け入れ促進のための環境整備 など



- 熊本地震からの震災復興
 - ・産業・交通インフラの復旧・整備
 - ・今後の資金需要を見据えた資金繰り対策 など
- 九州北部豪雨災害からの復興
 - ・過疎地域の復旧・復興に対する制度創設
 - ・被害事業者への支援の継続 など

福岡県・県議会

- ・中小企業・小規模事業者の活動基盤強化
- ・自然災害に対応するインフラの整備 など



福岡市・市議会

- ・地域資源を活用した着地型観光の充実
- ・多様な人材活用の推進
- ・中小企業のキャッシュレスの推進 など



商工業者の意見を、国や自治体などに伝え、商工業と地域の発展を促すことは、商工会議所の原点です。会員企業へのアンケートや生の声を元に、提言活動を行っています。福岡の活性化や将来像について、皆様からのご意見・ご提言をお待ちしています。

☎企画広報グループ ☎092-441-1112

E-mail fkkikaku@fukunet.or.jp



地域の賑わいを生み出す

『豊かな食文化』『ファッション産業の集積』『歴史・伝統文化』など、福岡の強みを活かした賑わいづくりに取り組んでいます。皆様ご存じのあのイベントも、実は商工会議所が支えている！…かもしれません。

福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」

博多のゴールデンウィークといえば、「博多どんたく港まつり」です。福岡商工会議所は、主催3団体として、福岡市・福岡観光コンベンションビューローとともに「どんたく」を運営しています。

5月2日の前夜祭を皮切りに、3日～4日は明治通りの「どんたく広場」パレードや、市内各地に設置された「演舞台」で、市民などが結成した「どんたく隊」が思い思いのパフォーマンスを繰り広げます。

期間中は、のべ35,000人を超える参加者と200万人を超える人出で、福岡の街は大いに賑わいます。



FASHION MONTH FUKUOKA ASIA 2019 (Fマンス)

人を惹きつける力を持つ「ファッション」。その魅力や熱気を「福岡アジアコレクション (FACo)※」の会場だけではなく街全体に拡げ、国内外からの集客と消費喚起、及び、商談機会の創出を図り、地域経済の活性化につなげる目的で、2013年より毎年開催し、2019年は、ウィークからマンスへと期間を延長しました。

期間中は、地元クリエイター、学生等が商業施設や地元ショップと連携し、ファッションウォークやショーなどのイベント、オリジナルキャンペーン・セールを実施。Fマンスは、「ファッションの街・福岡」を街中で楽しむシティイベントとして、福岡のファッション文化を象徴するイベントを目指します。

※福岡のファッションブランドを日本全国、そしてアジアへ発信するために、2009年に立ち上げた一大ファッションイベント。毎年3月に福岡国際センターで開催。



食べ飲み歩き事業

商店街等の飲食店での回遊を促し、地域の活性化を図るために、各地域で開催される食べ飲み歩き事業の支援を行っています。イベント開催時の広報やチケット販売の支援など、イベントの成功に向けて協力するほか、未開催地域へ事業提案や開催ノウハウの提供を行っています。

その他に、商店街等が取り組む活性化事業の施策提案や実施に向けた支援を行っています。

●2018年度開催実績
(実施団体：12団体)

- ・第1回なんかせんばはしご酒大会
- ・六本松バルウォークVol.7、Vol.8
- ・第10回・第11回カモメのグリル
- ・第17回・第18回大橋酒遊
- ・第2回とことこウォークin井尻
- ・第15回・第16回よござっしよはしご酒大会
- ・第6回御供所周辺ほろ酔いそうつきたい
- ・第6回食べ飲みウォーク遊バル香椎
- ・2018年サザエさん商店街通り夢まつり「ワンデイフードフェスタ」
- ・姪浜ハロウィン・バルウォーク



博多伝統芸能館

博多伝統芸能振興会(会長＝藤永会頭)は2017年11月3日に、櫛田神社前に博多の伝統文化に触れる、体験できる新たな観光スポットとなる「博多伝統芸能館」を開設しました。

日本舞踊や民謡、博多独楽など博多に伝わる伝統芸能の魅力を市民や国内外の観光客に発信することで、福岡(博多部)の観光振興を図っています。また、博多券番の芸妓の稽古場としても利用されています。

当芸能館では、国内外の旅行者を対象に定期的に公演しています。公演では博多芸妓による演舞、お座敷遊び体験、芸妓との記念撮影、博多民謡などをお楽しみいただけます。

※公演詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

